

2014年度受託研究概要報告

化粧品用容器の形状デザイン

研究メンバー

小山 明	インタラクションデザイン教育研究所教授・所長
入江経一	大学院芸術工学研究科客員教授
赤崎正一	デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授

委託者

株式会社 グラセル

研究概要

化粧品容器の形状デザイン提案を行うことが受託先のグラセル社から要求された。これまでの開発の経緯、実験的に開発されて実現されたものとされなかったものなどについてグラセル社において説明を受け、提案のために必要な条件を両者で共有した。開発資料の分析、サンプルの分析を行い、提案のための物理的な条件をまず確定し、その条件内でどのような形状が可能であるか、どのような素材を使用することが可能であるかのディスカ

ッションを繰り返し、提案をおこなった。グラセル社におけるプレゼンテーションにおいて、バリエーションの可能性、素材の可能性、販売における商業的な可能性についてディスカッションを行い、再び研究所においてディテールに関する検討を加え、追加資料として、素材の指定、パターン例に関する資料を作成しプレゼンテーションを行った。

研究成果

- 1) 現在化粧品容器開発においてもっとも重要と思われる感覚的なグローバルな流行についての分析から、カラーパターンの提案をおこなった。
- 2) 使いやすさと同時に必要な素材の柔らかさと形状の提案をおこなった。
- 3) 同一形状の中における構造のパターンの提案をおこなった。



skeleton

LDL



skeleton
+ organic skin



skeleton
+ rubber sponge



skeleton
+ fiber organic



skeleton
+ rubber sponge

